くも合戦

かじき

No.399
昭和63年 1月号

広報

題字　宇都宮町長

発　行　加治木町
編　集　総務課

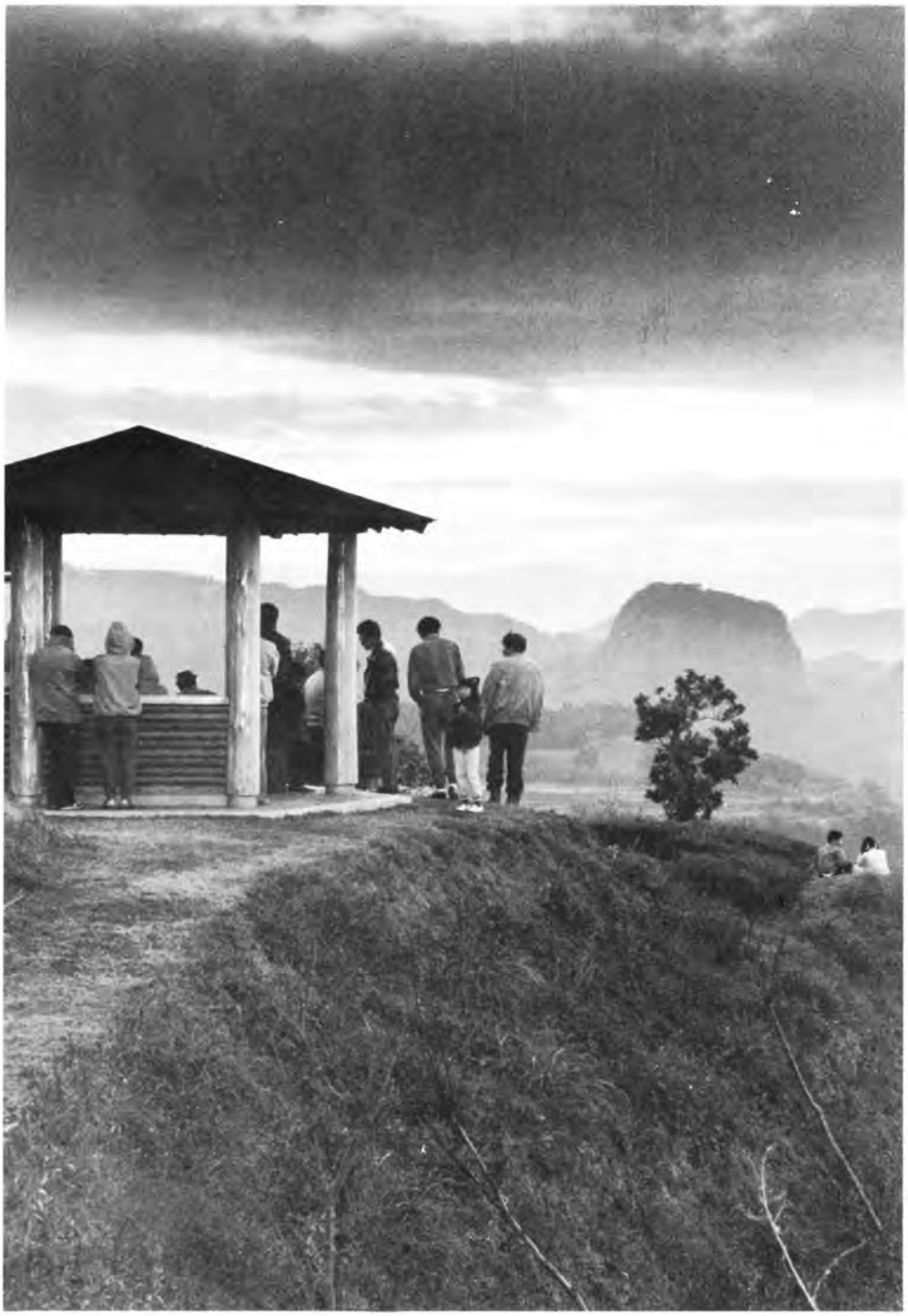
今年は辰年

辰は十二支の中で唯一の空想の動物です。ある動物図鑑を見たら、辰は竜として載っていました。「大蛇に角や猛獣、猛鳥の頭を組み合わせた伝説の動物」とあります。

竜は諺にもしばしば登場し「竜の翼を得たるがごとし」は強いものがさらに強くなることで、翼の代わりに水、雲などということもあります。

このように竜は強いものとされていますが「竜虎あい撃つ」ともいわれますから、竜は虎とは互角のようです。

さて、みなさんはこの新年をどんな決意でお迎えになりましたか。いずれにしても「竜頭蛇尾」に終わらないようにしたいものですね。



今年も良い年でありますように……（高岡公園にて）

宇都宮明人町長

昭和六十三年　元旦

山崎昭議長

官民一体となって町づくりを

加治木町長　宮都宮　明人

明けましておめでとうございます。町民の皆様とともに新年をお迎え出来ますことは無上の喜びでございます。平素は町民の皆様方には格別の御支援、御協力を賜わりまして衷心より厚く御礼申し上げます。

早いもので、町長に就任致しましてから一年が過ぎ去りました。

公約通り第一年度は、静から動へと町政が発展するための布石を国・県その他に打ってまいりました。ほぼ計画通り達成されたと思っております。第二年度からは、この布石を一歩一歩と踏みしめながら確実に前進してまいる所存でございます。

御陰様で、懸案の国道十号線の促進並びに仮屋馬場通線の目安もたちました。これもひとえに地域住民の方々の御協力のたまものと感謝致しております。

町内には幾多の問題が山積していますが、出来るものから長期短期と合わせ段階的かつ発展的に着手してまいる所存でございます。

現在、町内の眠れる資産を目覚めさせたいと思っております。

既に竜門滝周辺の開発に手がけており、本年度は温泉の試し掘りも予定しております。

自然のストック、文化のストック、人材のストック、下水道、商店街の活性化、老人健康問題、福祉、農村地域振興と多難ではございますが、皆様のお力添えを得ながら自分たちの町・加治木が姶良郡の中心地として不動のものとすべく着実に前進する覚悟でございます。今世紀も残すところ十二年二十一世紀の人々にすばらしい加治木を受け継いでいただくためにも官民一体となって頑張ろうではありませんか。

今年こそ町民にとっては、羽ばたきの第一歩であると同時に町民御一同様の御健勝を御祈念申し上げまして新年のごあいさつと致します。

役場職員の異動

一月一日付

（　）内は旧課

加治木町収入役職務代理者（収入役室長）　竪山　大支

■新規採用

保健衛生課　赤塚　恵子

■退職

下楠薗　仁（都市計画課長）

十二月三十一日付

竜の背中に

加治木町議会議長　山崎　昭

新年おめでとうございます

昭和六十三年　初春

加治木が平和な発展の町でありますよう心から祈願をいたします。

土曜夜のテレビ〝日本昔ばなし〟

♪坊や良い子だねんねしな

今も昔も変わりなく

母の背中の子守歌……

童心に返る安らぎのひととき。

小さな子供が竜の背中にまたがり大空に舞い上がって行きます。

子供に帰って竜の背中に乗り、飛んで見た加治木の空!!

整った街並みが緑の木立の中に静かに広がって行きます。

加治木港…だれでも釣りが出来る広い波止場ができています。

国道十号線…車がひっきりなし、加治木バイパスが早く出来ないとこの車の混雑、減りそうにない。

加治木の市街地…大きな官公庁、商工業の建物、風格があります。

仮屋馬場通線…長くかかったが今年中に出来上がりそうです。

木田本通線…この道路も行き止まり、西別府と結ぶ折角の大通り一日も早く開通させたい所です。

加治木団地…急ピッチで新しい家が建って行きます。新築の家で新年を迎える、めでたい事です。

開校二年目の加治木小学校…ここの生徒の評判がとても良い。元気、礼儀、先生・生徒・父兄力を合わせて、いつの間にか県下の有名校の一つになっています。

高岡公園…加治木の町が広がりその向こうに錦江湾、そして桜島が絵のように浮かんでいます。下界を眺めて散策に良いところ。

西別府、辺川、小山田、日木山…静かな山村に牛の鳴き声、機を織る平和な音も聞こえて来ます。

町道小山田線…住民の協力があって、改良工事が進んで行きます。

蔵王岳…てっぺんに日の丸の旗がはためいています。純白の中に真っ赤な太陽、清潔な情熱を秘めて、いつ見ても良いものです。

町内を一巡り、回りました。竜の里、竜門の滝に着きました。竜の門が夜でも良く見えるように滝を照らす電灯もついています。

竜門滝から上流の金山滝…立木を切り視界を広げて、夏はホタルが飛び交う憩いの里、名所がまた一つ、今年中に生まれます。

平和な故郷を、もっと住み良い町にする、それが私たちの責務です。後世の人から喜んでもらえる郷土のまちづくり、それが今です。

今年は竜年。加治木の町づくり村おこしに、竜神の守りを受けてエンジン全開。力強い一歩を踏み出したいと念じております。

福祉センターに門松を飾る

園芸教室の学級生

立派な門松を飾って…

社会教育学級の園芸教室に学ぶ大川道雄学級長をはじめ二十九人の学級生が十二月二十一日、福祉センターの玄関に大きな門松一対を飾りました。

これは、この日の学級でしめなわ作りと門松作りを学習した後、さっそく学んだ技術を生かそうと講師の内村茂先生の指導を受けながら、全員で製作したものです。

飾られた門松は、回りが約六十㌢、高さ一㍍あまりで、前には葉ボタンを植え込み、松竹梅やナンテン、ユズリ葉などを配した立派なもので、福祉センターを訪れた人の目を引いていました。

昔ながらのモチつきを体験

柳田子ども会

柳田子ども会（当房洋介会長会員七十二人）では十二月十九日、公民館の庭でウスとキネを使った昔ながらのモチつきを体験しました。

この日は、交代で十升のモチをつき、子供たちはつきたてのモチをなれない手つきで丸め、公民館の飾りモチや丸モチなどを作りました。

また、さっそくつきたてのモチにキナコをつけてパクつき「おいしい」と大喜びしていました。

重たいキネに悪戦苦闘

水槽付消防ポンプ車を配備

町消防団・中央分団

町消防団の中央分団に水槽付消防ポンプ自動車一台が、十二月二十五日配備されました。

これは、これまで使用していた同型の〝蔵王号〟が老朽化したため、国の補助を受けて買い換えたもので、今後初期消火などに大いに威力を発揮することでしょう。

町内では、昨年一年間に三件の火災が発生しており、たばこやふろの火の不仕末などが原因となっています。

火事はチョットの油断から起こります。火の気を使う機会も多い季節です。みんなで火の用心を心がけましょう。

配備されたポンプ車

わたしの見た加治木町《7》

人を財産に発展してゆく町

加治木労働基準監督署長

満永泰寛

静かで歴史のある落ちついた町。私の第一印象です。

鹿児島から通勤していますので加治木のことはよくわからないのに偉そうなことを申し上げるのは誠にせん越ですが、通勤途中、錦江駅周辺で盛んに住宅建設が行われているのを見受けます。事情はどうあれ加治木に定住したいという人が増えていることは間違いありません。加治木は、鉄道や空港に近い便利な環境からみましても、また、静かで落ちついた町の雰囲気からみましても、住宅地域として最高ではないかと思います。これに重点を置いて考えてみたらいかがなものでしょうか。家が建ち、人が増えると自然に町も発展するのではないでしょうか。

私も転勤であちこち移り住んでみて感じることですが、あたたかい豊かな心を持った人たちの多い土地では楽しく住みよい生活が出来ます。反面、よそ者に冷たい排他性の強いところでは非常に淋しいやな思いをします。

加治木は人情味の厚い土地柄ときいています。心豊かな人たちが大勢住み着いて、これからは人を財産に発展してゆく、そんな町のような気がします。

ところで、労働基準監督署は人を大切にする、人の幸せを守ることを目的として仕事を進めています。労働災害や長時間労働、賃金不払、即時解雇等のない加治木の職場づくりに今後共精一杯努力してまいりますので、どうかよろしくお願いいたします。

☒プロフィール

川内市の御出身で、昭和26年に入署。福岡で10年間勤務された後、名瀬や鹿屋などを歴任。県内7か所の労働基準監督署の中で最後で初めての加治木に昨年4月赴任された。

趣味は囲碁で、5段格で打たれるとか。税務署長との対局が大いに楽しみである…。

補正予算など二十の議案を可決

第四回町議会定例会

第四回町議会定例会は、十二月十四日から二十三日まで十日間の会期で開催され、補正予算や「助役の選任について議会の同意を求める件」など二十の議案と、陳情二件、意見案三件を審議し可決しました。

印鑑登録手帳を 印鑑登録証に変更

「加治木町印鑑登録及び証明に関する条例」の一部改正が行われ従来の〝印鑑登録手帳〟が五月から〝印鑑登録証〟に変更されることになりました。

これは、印鑑証明書の交付をより迅速に行うため実施しようとするもので、既に印鑑登録手帳の交付を受けている方々は、五月一日から昭和六十四年四月三十日までの間に〝印鑑登録証〟に切り替えていただくことになります。

助役に下楠薗仁氏

定例会では、空席となっていた町助役に下楠薗仁氏を選任することに同意しました。

下楠薗仁氏(五五)は、昭和二十七年に役場に入り、経済課土地調査係長をはじめ、総務課課長補佐、耕地課長、都市計画課長などを歴任されています。

129の条例を見直す

第7回町議会臨時会

町の憲法ともいえる条例の見直しを行う第七回町議会臨時会が、十二月二日から十一日まで十日間の会期で行われ、百二十九本の条例が整備されました。

今回の見直しは、すべての条例について字句の改正や条文の整理などを実施したもので、加治木町社会教育委員条例や加治木町道路占用料徴収条例の全部を改正する議案をはじめ十三の議案が審議可決されました。

条例を審議

指定金融機関制度がスタート

公金取扱所を開設

指定金融機関は鹿銀

町では、公金取扱いの効率的運営と安全を図るため、一月一日から〝指定金融機関制度〟をスタートさせることになり一月四日、役場内に設ける公金取扱所の開所式が、南庁舎一階の収入役室前で開催されました。

この日は、宇都宮町長をはじめ町の指定金融機関である鹿児島銀行の職員や町の職員など二十人あまりが参加して開所式が行われ、宇都宮町長と鹿児島銀行の大迫業務推進部長がテープ・カットを行い、業務を開始しました。

■役場内の公金取扱所での支払日

毎週水曜日（祭日の時は翌日）

午前九時～十二時まで

午後一時～三時まで

※税金など役場への納金は、町内の最寄りの各金融機関の窓口を御利用ください。

一発は現地で爆破

小山田で不発弾三個を除去

小山田の毛上地区で、太平洋戦争の末期、米軍が投下した時限装置付きの二百五十キロ不発爆弾三個が見つかり、十二月十二日と十三日の二日間、陸上自衛隊の協力を得て除去作業が行われました。

不発爆弾が見つかったのは、馬庭エミさん宅の庭先と、坂口ミギエさん、大村昇さん所有の山林でこのため付近の住民に避難をお願いし、陸上自衛隊第八師団(熊本)の爆弾処理班によって、信管の除去作業が行われました。

不発爆弾は、十二月十二日の作業で二発の信管の除去に成功したものの、残る一発の信管が外れず十二月十三日午後三時十分現地で爆破処理されました。

不発爆弾の処理作業

職員の拍手に送られ

岩屋収入役が退任

町収入役などとして三十七年あまりの長きにわたり町勢発展に尽力されてきた岩屋稔収入役の退任式が十二月二十八日、町営体育館で行われました。

岩屋収入役は昭和二十五年に役場に入り、総務課長をはじめ税務課長、福祉課長、議会事務局長などを歴任され、五十三年四月から収入役を務められています。

退任式では、長年の労苦をねぎらい花束が贈られた後、職員の拍手と「御苦労さま」の声に送られ役場に別れを告げました。

長い間御苦労さまでした

就任のごあいさつ

助役　下楠薗　仁

下楠薗助役

あけましておめでとうございます。町民の皆様には、御家族おそろいで輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

さて、このたびの町議会におきまして議員の皆様の温かい御同意をいただき、六十三年一月一日付をもちまして助役に選任されたところでございます。

私にとりましては、まことに身に余る光栄であり、また、あらためて責務の重大さを強く感じているところでございます。

私は、昭和二十七年役場に奉職して以来、町職員として職務に従事してまいりました。

その間、町議会議員の皆様をはじめ町民の皆様方の温かい御指導御支援によりまして、無事に過ごさせていただきましたことに対し衷心から厚く御礼を申し上げます。

御案内のとおり今日の地方行財政環境は極めて厳しい状況にあります。農政問題をはじめ道路及び下水道の整備等諸々の課題が山積している今日でございますので、この上は浅学非才の私ではございますが、町長の補佐役として微力ながら町民の負託に応えるべく新たなる意欲をもって豊かな住み良い町づくりのために専心努力してまいる所存でございます。

何とぞ町民の皆様のなお一層の御支援と御協力をお願い申し上げますとともに、皆様のますますの御健勝と御多幸を御祈念申し上げ就任のごあいさつといたします。

退任のごあいさつ

収入役　岩屋　稔

岩屋収入役

寒さが厳しいこのごろでございますが、町民の皆様には御元気で輝かしい新年をお迎えになったことと存じます。

さて、私こと一身上の都合によりまして、去る十二月末日をもって加治木町収入役を辞任いたしました。任期半ばの辞任で大変御迷惑をかけることになりましたが、健康上の問題もあり、申し訳なく思っております。

思い起こしますと、私が役場に奉職いたしましたのが二十五年九月でございましたので、足かけ三十七年有余の長い間勤務させていただき、感慨無量なるものがございます。

今、私の頭の中には、町職員の時代、収入役時代を通じての数々の思い出が走馬灯のように去来しております。長い間、本当にありがとうございました。

私は、人生の半分以上を役場で過ごしたことになりますが、この間、収入役室職員の皆さんをはじめ、関係各課職員の御協力、御援助があってこそと思い、あらためて深く御礼を申し上げます。

現今の我が国の社会経済情勢は円高による輸出産業の不振、農政問題など、国の内外を問わず厳しいものがありますが、町民の皆様の町政に対する御理解とお力添えによって、本町は更に新しい時代へ躍進を続けるものと信じます。

最後に町民の皆様の御健勝をお祈りしごあいさつといたします。

コイの稚魚200キロを放流

網掛川漁協

網掛川漁協（吉薗清組合長）では釣り人に楽しんでもらおうと毎年コイの稚魚を放流していますが、昨年も十二月三日と十一日の両日、竜門滝と千鳥橋で二百キロの稚魚を放流しました。

今回放流した稚魚は、体長十二センチから十五センチのもので元気に泳いで行きました。

春には大きく成長し、釣り人を楽しませてくれることでしょう。

大きく育って……

アサリの稚貝三トンを放流

錦海漁協

錦海漁協（春山鉄翁組合長）では、今年も大勢の人に〝潮干狩り〟を楽しんでもらおうと十二月八日アサリの稚貝三トンを須崎沖などに放流しました。

今回放流した稚貝は、福岡県から取り寄せた一センチ以上のもので、錦海漁協の組合員が船上から次々に放流しました。

須崎海岸などの潮干狩りは、三月下旬ごろ解禁されますが、その時期には大きく成長し、私たちを楽しませてくれることでしょう。

潮干狩りが楽しみ

■はたちのあなたと選挙権■

社会をよくする
価値ある一票
棄権は「やめよう」

まちのわだい

夜空に映える竜門滝
2基の照明を設置

高井田にある町の名所・竜門滝に二基の夜間照明が設置され十二月二十六日点灯式が行われました。

点灯式では、宇都宮町長がスイッチを押すと二か所に設けられた照明に照らされ、竜門滝が夜空にくっきりと浮かび上がりました。

宇都宮町長は「竜門滝周辺整備の第一弾として照明装置を設置しました。これからも整備を進め、自然とのふれ合いを大切にしてゆきたい」と語りました。

五千点あまりを展示即売
竜門司焼・陶器まつり

第四回陶器まつりが十二月十九日と二十日の二日間、小山田の竜門司焼窯元で開催されました。

会場では、竜門司焼の代表的な焼物の黒物や三彩焼、鮫肌などのつぼや花瓶などの作品五千点あまりが展示即売され、市価の二～三割引きとあって大勢の陶芸マニアでにぎわっていました。

また、ろくろの実演も行われ、訪れた人たちは興味深げに見入っていました。

ピノキオがクリスマス公演

ママさん人形劇団「ピノキオ」（池平順子代表、十人）のクリスマス公演が十二月十六日、町立図書館で行われました。

今回の出し物は、約四か月練習を積んできた「カチカチ山」と「すてきなバスケット」で、集まった八十人あまりの子供たちは人形の動きに熱心に見入っていました。

国道わきの空き缶を清掃

町衛生協会の宮路義彦会長ら理事十人が十二月十八日、国道十号線の道路わきに投げ捨てられている空き缶の清掃を行いました。

この日は、ゴミ袋を手に須崎から役場まで空き缶を拾って歩きましたが、たちまち袋はいっぱいになり、参加した理事たちはその量の多さにおどろいた様子でした。

にぎわった老人バザー

老人クラブ主催の〝老人バザー〟が十二月五日、福祉センターで行われ大勢の人でにぎわいました。

この日は、会員が製作した竹ぼうきやしめ飾りをはじめ、野菜や家庭用品（不用品）など一千点あまりが展示即売され、市価の二～三割という価格も手伝ってか、あっという間に売り切れてしまうほどの盛況ぶりでした。

熱戦スポーツニュース

200人あまりが健脚を競う

町ジョギング大会

町ジョギング大会は十二月六日、加治木中学校前をスタートし、九州自動車道の側道を走るコースで行われ小学生から一般まで二百人あまりが日ごろ鍛えた健脚を競い合いました。

結果は、次のとおりです。

■小学生低学年・男子（一キロ）
優勝…有馬健夫（3分42秒）
二位…川田浩之▽三位…久木元崇
■小学生低学年・女子（一キロ）
優勝…酒井貴子（4分0秒）
二位…向江真希▽三位…古沢暁子

自分との闘いのスタート

■小学生高学年・男子（二キロ）
優勝…川田純也（6分59秒）
二位…白尾純一郎▽三位…横峯孝昭
■小学生高学年・女子（一キロ）
優勝…向江真知子（3分29秒）
二位…末永仁子▽三位…清水亜紀
■中学生・男子（三キロ）
優勝…鳥丸一洋（9分59秒）
二位…福崎　博▽三位…大野隆弘
■中学生・女子（二キロ）
優勝…上野芽里子（7分42秒）
二位…地久里晴美▽三位…上口理恵
■一般・男子（五キロ）
優勝…薗田英実（16分34秒）
二位…久保裕男▽三位…水流哲也

健脚を競う

■一般・女子（二キロ）
優勝…川田サチ子（9分44秒）
二位…古寺育子

井筒親方に感謝状

井筒部屋激励会

郷土出身の〝逆鉾・寺尾・鶴ノ富士〟など井筒部屋の力士を迎えて井筒部屋激励会が十二月六日、錦江会館で開催されました。

席上、宇都宮町長が「郷土加治木の名声を全国に広められた」功績をたたえ、井筒親方に感謝状を贈り、その労をねぎらいました。

これからも頑張って下さい

阿剛州（アゴーズ）が初優勝

県社会人九人制バレーボール大会

第十八回県社会人九人制バレーボール大会が十一月二十五日、鹿児島経済大学で開催され、阿剛州チームは決勝戦で鹿児島松下電子をセット・カウント二対一で破り初優勝しました。

立幅とびなどで体力テスト

スポーツ少年団

子供の体力を総合的に判断しようと十一月二十八日、スポーツ少年団員を対象に体力テストが加治木小学校で行われ、子供たちは、瞬発力をみる立幅とびや腹筋の持久力をみる上体おこしなど五つの適正テストに熱心に取り組んでいました。

自分の体力は？

しめ縄づくりに挑戦

姶良地区子ども会創作活動

姶良地区子ども会創作活動が、十二月二十日加治木小学校で開催され、地区内の子ども会員や育成者など二百十二人が〝しめ縄づくり〟に挑戦しました。

この日は、町子ども会育成連絡協議会の岩元会長から〝しめ縄の由来〟について講話を受けた後、芝原副会長や、竜門西元地区の高齢者の方々の指導を受けながら、なれない手つきでしめ縄づくりに取り組み、子供たちはやっと出来上がったしめ縄を手に「家に飾ろう」と大喜びしていました。

銀色有功章を受賞

木山裕繼さん

長年にわたり日赤の共同募金活動に協力されている第一建設の木山裕繼さんに、日本赤十字社から「銀色有功章」が贈られました。

これは、木山さんが、長年、赤十字事業の推進のため、多額の社費を納入され、また、共同募金活動などに積極的に取り組んで来られた功績が認められたものです。

有功章の伝達式は十二月七日、町長室で行われ、宇都宮町長から木山さんに手渡されました。

銀色有功章を受ける木山裕繼さん

〃社会福祉に役立てて〃と寄贈

㈱こうか加治木店

寄贈された善意の募金

歳末助け合い運動期間中の十二月二十二日、（株）こうか加治木店（江夏利男社長）の庵山店長が「社会福祉に役立てて」と六万四千円あまりを社会福祉協議会へ寄贈しました。

これは、店内のレジに置いていてる募金箱に、お客様から寄せられた〃善意の募金〃を寄贈したもので、中身は、五百円玉十八個を含め六万四千二十一円ありました。

㈱こうかでは「少しでも地域のお役に立てれば」と全店に募金箱を置いており、これまでも募金箱がいっぱいになるたびに社会福祉協議会に寄贈されています。

社会福祉協議会では、この〃善意の募金〃を歳末助け合いに活用することにしています。

金山道漫歩（ゴールデンロードランブル） 10

女の詣でる処 (三) 隈姫神社

呪文にも似た怨念の唱えが静寂な夕闇の気を振るわして流れてくる。辺川の観音渕で、腕に香を一七日の間、焚き続ける難行苦業を重ね、渕に端然と座す妖艶な球摩御前（隈姫）の慄然たる声である。

人吉の相良家から島津義弘夫人として輿入れした隈姫は、ある訳（相良義陽が義弘公に陰謀反逆した。また、伝説に姫の手に水かきがあったとか）で離縁になった。最愛の夫から思いもよらぬ仕打ちを受けた姫の心緒いかばかりであったろうか。

やむなく自分の御化粧田の住まいに移った姫は怒りに狂い、憎悪に燃え、いつしか呪いに変わってゆき、悶絶哀絶の一生を終えた。

観音渕にたたずむ隈姫

付添の女中十六人は姫の死に殉じ、結手坂の東側にある滝に身を投じた。飛び込んだその時髫が解けて崖の藤蔓に懸っていたので後に髫が瀑と呼ぶようになった。この事があってから、島津家には色々な障事が引き続いた。千軍万馬の義弘は豪胆な反面、大変慈悲深い武将であった。夫人の霊が宙をさまよっているのを深く哀れみ、慶長十八年宝現大明神として姫の霊を祀り、俗に「お宝現さあ」と呼ぶ社を建てて手厚い法会をした。これが加治木五社中の一つである隈姫神社の濫觴である。

姫の付き人として来た大迫藤右衛門重里に男子一人、女子二人があったが、姫が亡くなると男の子は「お前は出家して法要を尽くして下れ」と言われ、法門に入って「光規法印」と号し、宝現大明神の別当寺・宝現寺の開基となった。今、社殿の東斜め下の岩壁に彫り込まれた「光規法印」の文字とともに、薄暗い木立の中に墓がある。

また、家久は髫が瀑の哀話を聴き「散る花の流れをとむる瀬もあらば又たち帰れ滝の白浪」（別にのたのめつつ君がこぬ夜の乱髪結手の坂とまちかねけり）と悼詠している。

森厳な境内に佇むと、亭々とした杉小立の樹間を縫って吹いて来る風の音は、哀切の調にも以て妖気を漂わし、昔日の美人隈姫に想いを馳せるとき鬼気津津たるものが迫ってくる。悲恋一枚、真骨頂の一生を送った姫の死は哀惜に堪えないものがある。先年、親友の南日本新聞社加治木支局長であったH氏は、結婚後十有余年になるが子宝に恵まれなかったが、ここに詣でて隈姫の記事を新聞に掲載した所御利益てき面、今二児の父親となり幸福な日々を送っている。

この記事で姫の美にあやかろうと社殿の後に湧くお白粉水で浄める女性たちが日ごとに多くお百度を踏む姿がいとおしい。

隈姫神社の御化粧水

（文と写真　松田繁美
さし絵　新福貢）

社会保険庁長官表彰を受賞

永原納税組合

永原納税組合（内村勉組合長・七十世帯）が十一月二十七日、昭和六十二年度国民年金優良納付組織として「社会保険庁長官表彰」を受賞しました。

表彰状を手に内村組合長

これは、十一月一日から二十日までを「国民年金制度推進月間」と定め、国民年金事業の実施に当たり、優秀な事業実績を収めた個人や団体を表彰しているもので、永原納税組合は、国民年金保険料の納期限完納に努めているほか、未加入者に対して加入勧奨を行うなど常に積極的に事業の推進に協力され、国民年金制度の発展に多大の寄与をされており、その功績が高く評価されたものです。

表彰状の伝達式は十二月十五日町長室で行われ、宇都宮町長から内村組合長に手渡されました。

15万円相当の図書を寄贈

加治木白がらす会

町内外の若者十五人で昨年一月結成された加治木白がらす会（岩下直司会長）が十二月七日、加治木町立図書館に「こわいおばけ」や「野口英世」など十五万円相当の図書を寄贈し、子供たちに喜こばれています。

白がらす会は、昨年四月、町営体育館で開催されたミュージカル「ザ・結婚」を成功させようと、有志によって結成された団体で、その公演の収益の一部を「町の子供たちのために活用して……」と図書館に寄贈したものです。

町立図書館では順次配架し、子供たちに読んでもらうことにしています。ありがとうございました。

贈られた図書

毒草

キキョウ

「秋の野に、咲きたる花を指折りて。かき数ふれば七種の花。萩が花、尾花、くず花、なでしこの花、おみなへし、藤袴また あさがほの花」万葉集の山上憶良が秋の七草を詠んだ歌です。昔はキキョウのことを「あさがほ」といっておりました。

キキョウ科の多年草で、日当りのよい草地に自生します。日本ではあまり見かけなくなりましたが、朝鮮半島から中国東北部（旧満州）に分布します。

冬、根を堀りとり水洗いして細かくきざんで、風通しのよい所で日干しにします。

せきやたんが出るとき、のどの痛みが激しいとき、しわがれ声になったときに、五～八グラムを三合の水から半分量に煎じ一日三回に分服します。しかし副作用がありますので、近くの薬局で指導を受けてください。

根は、漬物や山菜として食用としますが、流れる水で四～五日さらすことが大事です。キキョウサポニンが含まれていて、赤血球を壊す作用があります。

簡単な調理で飲食すると、嘔吐、胃や腸のただれ、下痢などを起こします。

しかし、このサポニンは水に溶けやすいので、よく水にさらしておくと抜けてしまいます。

朝鮮民謡にある「トラジ」はこのキキョウのことです。歯ざわりのよい、トラジのキムチの味はまた格別です。

（筆者県民の森　上萩大治）

▽無断転載は、御遠慮ください。

〝交通遺児のために〟と寄贈

町遺族会青壮年部

「交通遺児のために役立てて」と町遺族会青壮年部の坂元広子部長と新福貴さんが十二月二十一日加治木警察署を訪れ、十一月二十日町福祉センターで開催した「母に感謝の集い」の席上行ったチャリティショーの益金六万円を浜元署長に寄贈しました。

鍵っ子の懐手して缶をける　川崎　黒兎

大安に足袋履きかへて退院す　恒吉　斗南

島影の走る迅さや枯木立　内田美津代

物を干す妻のハミング小春かな　髙木　正男

大漁旗めぐらし浜の運動会　古江　重美

渓紅葉瀬の音高きひと所　鶴田　耕

一輪の菊教卓に師の講義　加藤　白柳

夫婦して異なる痛み寒波来　柳田　稔

この庭の彩るものに冬のばら　佐々木かすみ

鳶百羽岬にうづまく冬夕焼　竹山　洋子

雲間洩る光は淡し紅葉葉に　上野　光

お知らせ

「はたちの献血」に御協力を

一月十二日（火）から二月十日（水）までの一か月間、全国一斉に「はたちの献血」キャンペーンが実施されます。

これは、医療に必要な全ての血液を献血により確保するため、新たに成人式を迎えた若者を中心に広く国民の間に献血思想を普及するとともに新しい献血制度への理解と協力を求め、特に冬における献血者の確保を図ることを目的としています。

県内においても、一月十五日の「成人の日」に新成人を対象に、移動採血車による街頭献血を実施しました。

▽新しい献血制度

従来の200㎖献血に400㎖献血と、成分献血が新たに加わって三種類になりました。

▽献血者登録制度

血液の緊急の需要に対処するため、健康な若い方の献血登録者を募集しています。

■問い合わせ先

県赤十字血液センター

（鹿児島市鴨池新町一一五）

☎〇九九二―五七―三二四一

タコあげは電線のないところで

タコあげのシーズンです。

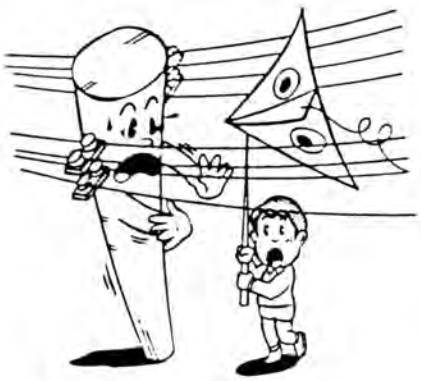
お父さん、お母さんへお願い。

電線の近くでは、タコを絶対あげないように、お子様へ御注意ください。

もしタコが電線にかかったら、危険ですから自分でとらずに、九州電力加治木営業所（☎六二―二二八）へ御連絡ください。

・電柱にのぼって取るのは、やめましょう。

・電線を竹ざおでつつくのは大変危険です。



家族で確認し合おう 今年1年の交通安全

一年の計は元旦にあり――

だれでも年の始めには、その年一年の決意を新たにするものです。

希望校を目指して勉強するもの、仕事に生きて商売繁盛、早寝早起き…。このように年の始めの決意や願いはさまざまですが、今年一年の交通安全の誓いをつけ加えてください。

一家団らんのひととき、ふだん家族が交通安全についてどんなことを心がけているのか確認し合ってはいかがでしょうか。

車を運転するお父さん、ミニバイクに乗るお母さん。そして歩行者や自転車利用者としてのお子さんやおじいさんなど、家族一人一人がさまざまな立場で交通社会に生きています。

それぞれが外出先で、どのような点に気をつければ交通事故を防げるか、日ごろの反省を込めて話し合ってください。

また、正月だけに限らず、お父さんやお母さんは、いつでもお子さんの良い手本となるよう行動し、機会あるごとに交通安全の大切さを教えましょう。

「とび出すな」

ぼくたちみんなの　合言葉

うぶ声

出生児　保護者

立元　悠樹　康弘　西塩入中
鬼丸　高友　高恒　小島
茂岡　陽介　実　原ノ門
前原　秋恵　修　赤坂
前原　千秋　修　赤坂
浜島　幸也　孝幸　豊町
若松マリア　健語　蔵王団地
白木　佑一　正一　赤坂
中馬小百合　勇　弥勒
石野　恵子　洋一　下新道
本中野　要　久　西反土後
今塩屋玲奈　茂樹　小陣
南原　利佐　秋広　赤坂
瀬戸口　徹　忠宏　今町
緒方　麻美　進　春日団地
坂口　健太　隆利　赤坂
瀬ノ口結華　昭宏　赤坂
高橋　梨沙　昭弘　西江口団地
松元　伸敏　武光　春日団地
東　真矢　一郎　春日団地
岩下　愛　伸一　江口団地
山口　佳介　利高　西塩入下
福山　勇作　親幸　東諏訪

▽十二月二十日までに住民票に記載された分を掲載いたしました。

西ノ原　田中良二（母　美佐江五六）二万円
迫上　岩元　保（父　茂八四）二万円
萩原　前田博己（義母富永嘉七五）三万円
東塩入　米森トヨ子（桑迫　溝口時義九〇）二万円
西反土後　有村富美子（夫　俊七五）

▽十二月二十日までの御寄付を掲載いたしました（年齢は満年齢）

ご寄付

香典返しのかわりに御寄付をいただきました。厚く御礼申し上げますとともに故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

一万円
萩原　福崎順子（夫　一郎六五）
三万円
新中　小野田ツル子（夫次男六九）
五万円
西反土後　有村富美子（夫　俊七五）
三万円
東諏訪　壱岐琳子（夫　侃七七四）
十万円
札立　永松エイ子（夫　三郎七三）
三万円
東塩入　石川秋男（母ケサマツ七六）
二万円

＝町老人クラブ連合会へ＝

二万円
西反土後　有村富美子（夫　俊七五）

▽十二月二十日までの御寄付を掲載いたしました（年齢は満年齢）

記事訂正とおわび

十二月号の記事中、誤りがありました。深くおわびし、次のとおり訂正します。

■八ページ「金山道漫歩」中

一段目・右から七行目

右に松月山…→左に松月山…